

公益目的支出計画に基づき、平成25年度に実施した継続事業は次のとおりです。

1 舞台芸術公演

音楽や演劇など、本県の舞台芸術の振興を目的に舞台芸術公演を実施しました。

平成25年度は公益財団法人宮崎県立芸術劇場、宮崎市民文化ホール、公益財団法人都城市文化財団、MR T宮崎放送と提携して、下記の公演を開催しました。

(1) 劇団四季「ソング&ダンス」

平成25年9月1日(日) 延岡総合文化センター 入場者数 1,249名



(2) 「松竹大歌舞伎」

平成25年11月20日(水) メディキット県民文化センター

入場者数 昼の部 700名 夜の部 801名



(3) 「宝塚歌劇団 月組」

平成25年12月3日(火) 宮崎市民文化ホール

入場者数 昼の部 1,865名 夜の部 1,849名



(4) 「ディズニー・オンクラシック」

平成 25 年 12 月 12 日 (木) 都城市総合文化ホール 入場者数 1,253 名



(5) 「人形浄瑠璃 文楽」

平成 26 年 3 月 12 日 (水) メディキット県民文化センター  
入場者数 昼の部 393 名 夜の部 361 名



2 文化芸術振興事業

本県の文化芸術の振興を目的に文化芸術振興事業を実施しました。

平成 2 5 年度は、宮崎県立美術館及び宮崎県総合博物館と提携して、下記の展覧会を開催しました。また、美術館及び博物館の学芸員によるギャラリートークを実施しました。

(1) 「藤城清治 光と影のファンタジー」

平成 25 年 6 月 29 日 (土) ～9 月 1 日 (日) 宮崎県立美術館 入場者数 52,591 名

(2) 「よみがえる恐竜時代」

平成 25 年 7 月 13 日 (土) ～9 月 1 日 (日) 宮崎県総合博物館 入場者数 59,632 名

**藤城清治**  
光と影のファンタジー

2019年 6月29日 ▶ 9月1日 開演  
観覧時間：10:00～18:00 (入場は 17:30 まで)

観覧料 一般：1,200 円 (1,000 円)  
小中学生：600 円 (400 円)  
※ ( ) 内は団体料金 (20 人以上) の料金です。  
※ 身体障害者手帳、療育手帳、障害者手帳ご提示の方にはこの料金が 1/2 となります。

日本における彫刻作家の第一人者である藤城清治の作品は、神秘的な光と影の影によって、自然や人間の姿が表現されており、見る者の心に響く。そしてあたためた語りかけを、8 分間を越えてなお意欲的に作品制作に取り組み続け、そこから磨き出される数々の傑作は、多くの人心を奪いと驚嘆、そして感動を呼び起こす力を持っています。

本展では、モノクロの初期作品から鮮やかな色彩で彩られた近年まで約 60 年間の作品が、儼然と、そして驚きの連続した空間を演出しています。また今回の展覧会のために監修陣内をスクリーンで作り上げた最新作を含め、約 200 点を展示いたします。

主催：藤城清治展実行委員会  
(宮崎県職員 尾崎、宮崎県美術館、  
福岡市美術館、DMK 九州芸術)

問い合わせ先：宮崎県立美術館 (0985-20-3792)

**よみがえる恐竜時代**  
陸海空の絶滅生物たち

宮崎県総合博物館  
7/13(土) ⇒ 9/1(日)

観覧時間 9:00～17:00 (入場は 16:30 まで) 観覧料：大人 1000 (800) 円、小中学生 500 (300) 円 前売り券の発売は 7 月 12 日まで  
※ ( ) 内は団体料金 (20 人以上) の料金です。 ※ 身体障害者手帳、療育手帳、障害者手帳ご提示の方にはこの料金が 1/2 となります。

恐竜が陸上に繁栄した時代には海や空にも多くの生物が登場しました。27m の恐竜、12m の首長竜、10m の翼竜など巨大生物を中心に中生代の不思議な生物を陸・海・空 3 つのコーナーで紹介いたします。

### 3 文化講演会

本県の文化・学術の振興を目的に文化講演会を実施しました。

平成25年度は、埋蔵文化財センター、高速道対策局と提携して、「みやざき発掘100年 東九州道延岡宮崎間開通記念講演会」を開催しました。

第一部 「古代日向を遊ぶ」 講師：俳優 考古学研究者 荻谷俊介氏

第二部 「日本の遺跡発掘100年」 講師：奈良大学文学部教授 坂井秀弥氏

平成26年2月22日(土) 宮崎市民文化ホール 入場者数 205名



### 4 臨床心理士相談事業

宮崎県臨床心理士会と連携し、県立学校5校に臨床心理士を派遣し、生徒のカウンセリング及び教職員、保護者への相談事業を実施しました。

また、臨床心理士の協力を得て、発達障害等に関する研修会を実施しました。

### 5 スクールコンサート

県内の小中学校及び県立学校を会場に、児童生徒及び地域住民等を対象としたスクールコンサートを実施しました。

平成25年度は、中央地区及び県南地区の公立学校及び記念式典の際に公演を希望する学校を対象に実施しました。

公演実施校	公演数	アーティスト名
赤江まつばら支援学校 外5校	5公演	I N T I
吉野方小学校 外1校	2公演	W h o o p i n
大淀小学校	1公演	新井武人
榎原中学校 外2校	3公演	演劇企画「二人の会」
国富小学校	1公演	大藺麻美子
宮崎東小学校 外2校	3公演	温故知新
潟上小学校 外10校	10公演	劇団パレット
穆佐小学校 外10校	10公演	橘太鼓響座
鏡洲小学校 外3校	4公演	外山友紀子

日南くろしお支援学校 外1校	2公演	浜崎奈津子
宮崎農業高等学校	1公演	道本晋一
高岡小学校 外1校	2公演	宮崎三曲会
油津小学校 外1校	2公演	宮里陽太
市木中学校 外3校	4公演	村上三絃道
みなみのかぜ支援学校 外11校	10公演	リラの会
市木小学校 外5校	6公演	んまつーパス
計 71校	66公演	(鑑賞者数 14,064名)



国富小学校 大園麻美子氏公演の様子



穆佐小学校 橘太鼓響座公演の様子

## 6 文芸活動振興事業

本県の文芸活動振興と生涯学習を支援することを目的に文芸活動振興事業を実施しました。

### (1) 「わくわく文芸講座」

歌人 大口 玲子 氏の講演の後、小説・詩・短歌・俳句の4部門に分かれ、文芸講座を実施しました。

- 全体会 「震災と短歌」 講師：大口 玲子 氏
- 第1分科会 「短編小説の書き方」 座長：曾原 紀子 氏
- 第2分科会 「新しい主題と文体の誕生」 座長：杉谷 昭人 氏
- 第3分科会 「伊藤左千夫の短歌について」 座長：東口 誠 氏
- 第4分科会 「季語を覚えるために」 座長：渡部 昭波 氏

平成25年9月22日(日) 県立図書館 参加者数 95名

(2) 「文芸誌しやりんばい第36号」

教職員の文芸作品、及び高等学校文芸部と連携して高校生が創作した作品を掲載した「文芸誌しやりんばい第36号」を発行し、希望者に配付するほか、図書館や関係団体等に寄贈しました。

また、視覚障がい者の読書活動を支援するため、掲載作品の中から十数点を厳選して点字本を作成し、点字図書館及び視覚支援学校に寄贈しました。

掲載作品数 74点 平成26年1月30日(木)発行

点字本寄贈冊数 40冊

(3) 「文芸誌しやりんばい第36号」合評会

掲載作品の批評を行う「合評会」を開催しました。

平成26年3月2日(日) ひまわり荘 参加者数 28名

7 宮崎県教職員互助会美術展

本県の芸術の発展・振興を目的に美術展を県内3会場で開催し、通常展に加え、県外公募入選作品やカードアート作品などを展示しました。また、展示作品を前に専門講師が講評を行うギャラリートークを実施しました。

(1) 会場・会期・入場者

宮崎展 宮崎県立美術館

平成26年1月9日(木)～18日(土)

入場者数 775名

都城展 都城市立美術館

平成26年1月21日(火)～26日(日)

入場者数 476名

延岡展 延岡総合文化センター

平成26年1月30日(木)～2月6日(木)

入場者数 525名



(2) 展示作品

公募作品 124点 県外公募展入選作品 23点 カードアート作品 14点

抽選プレゼント作品 20点 会報表紙原画 6点

文芸誌しやりんばい第36号表紙原画並びに教職員互助会美術展ポスター原画

(3) ギャラリートーク

講師：清野芳孝氏（書部門）

平成26年1月12日（日） 宮崎県立美術館 参加者数 20名

8 スポーツ支援事業

(1) 本県の生涯スポーツの振興を目的に第3回エンジョイスportsフェスティバルを開催しました。

平成25年10月27日（日） 宮崎県体育館 参加者数 1,485名

(2) 本県のスポーツ競技力向上のため、宮崎県高等学校体育連盟をとおして、なぎなた・フェンシング・水球の3競技団体への支援を行いました。